



NISSEI TOPIC

新執行部誕生 長尾淳彦会員が新会長に

● 令和 5 年度通常総会を開催



日整は、令和 5 年度の通常総会を 6 月 25 日（日）正午から日本柔整会館で開催し、昨年度の決算案、本年度の会費免除者案、役員改選の議案等が上程された。

議長に福島県の遠藤寿之会員、副議長に広島県の加藤弘幸会員が選任され議事進行を務めた。定足数の確認では代議員総数 95 名の全員の出席を確認し、議長は通常総会が有効に成立することを宣言した。

議事録署名人には、富山県の吉村英男会員、滋賀県の杉尾裕司会員が議長から指名された。

審議事項に入り、昨年度の決算案、本年度の会費免除者案を議場に諮り、原案どおり可決した。

続いて任期満了に伴う役員の選任並びに会長及び副会長の選定については、会長副会長とも定数以上の立候補者があり 95 名の代議員による投票の結果、会長選は 65 票対 28 票（無効 2 票）で長尾淳彦会員、副会長選は竹藤敏夫会員 68 票、森川伸治会員 56 票、豊嶋良一会員 28 票、春原博会員 8 票で、上位 2 名が副会長に就任した。

理事、監事の立候補者は定数内に収まり全て信任された。

● 理事会を開催

新執行部の第 1 回、2 回の理事会で常置機関各部長職を含めて職務分担等を決定した。

7 月 4 日（火）に新執行部第 1 回目の理事会を開催し、部長職を含めて執行部の各部担当等について諮り、原案が承認された。

7 月 28 日（金）の理事会で部員を含めた常置機関各部の職務分担等について諮り、原案どおり承認された。



2 面に会長挨拶（要旨）、3 面に職務分担表掲載

長尾新会長就任挨拶

総会時挨拶要旨（令和5年6月25日）

「柔整師を夢のある職業に」

今回立候補した会長、副会長、理事、監事の24名の平均年齢は68.25歳です。この年代は多分、開業後に家を立てることができ、経済的にもあまり苦勞せずに子どもたちを育てられた世代です。私自身もそうでした。

ところが、現在、開業している30代や40代の若い柔整師には同じことができるだろうか、ということを経験してきました。私たちは若い柔道整復師に誇りを持って仕事に励み、生活や子育てを両立できる職業として確立させる必要があります。

また、日整は柔道整復師業界のリーダーであるべきと信じています。色々な問題もありましたが、私たちは柔道整復師を次世代の若者にとって夢のある職業にするため、様々な課題解決においてリーダーシップを発揮していきたいと考えています。

会長として何をすべきか、これから考えを一層深めていくところです。会員の皆さんには、様々な意見やご指導をいただければと思います。

第1回理事会挨拶要旨（7月4日）

「五つの信頼回復と協調」

一つ目は、患者である国民に対する信頼回復。二つ目は、支払い側である保険者との信頼回復。三つ目は、内閣以下、国もそうですが、市町村、都道府県、いわゆる行政との信頼回復。四つ目は、関連団体を含めて、われわれの業を支えてくれている人たちとの信頼回復。五つ目は、柔道整復師自身、または日整会員、日整外の会員への信頼回復と協調、この五つをしっかりと果たしていきたいと思っています。

ただ、こういうことを挙げても若干抽象的で具体性はありませんが、おのこの患者や国民、または支払い側の保険



現在、接骨院がどういったことを行ってくれるところで、柔整師はどういう職業なのかということについて、国民にはあまり理解されていないように感じます。保険者にしても、行政にしても、私たちの業界に対する理解はまだまだ進んでいないのが現状です。こうした理解度の向上も含めて、政治家の方々とも協調しながらこの業界を引っ張っていきたくて思っています。どうぞ2年間よろしくお願いたします。

者とどう接していくかをきちんと決めたいと思います。登る山をきちんと決めて、「1」から「5」の部分で分担を決めて、この人たち、またはこのカテゴリーの中ではどの山に登るかということをしつかり見極めていきたいと思っています。

執行部全体が一丸となり、それぞれが十分に議論を行い、納得が得られるまで話し合いを進め、方向性が確定した後に、全員でその山に挑戦する意思を明確に示していきたいと考えています。

職 務 分 担 表

2023/7/28

監 事	
宮下治由(福井県)	
高橋政夫(千葉県)	

会 長	
長尾淳彦(京都府)	

副会長	
森川伸治(愛知県)	

副会長	
竹藤敏夫(茨城県)	

総務部		財務部		保険部		学術教育部		事業部		広報部		国際部	
部長	川口貴弘(奈良県)	部長	齋藤武久(神奈川県)	部長	山崎邦生(岡山県)	部長	徳山健司(大阪府)	部長	鈴木努(静岡県)	部長	塩川哲也(福岡県)	部長	大河原晃(埼玉県)
理事	原澤研祐(群馬県) 柏木久明(長野県)	理事	齊藤勝典(山形県)	理事	田代富夫(栃木県) 橋口均(鹿児島県)	理事	金子益美(新潟県)	理事	櫻田裕(宮城県)	理事	藤川和秀(愛知県)	理事	高山訓正(北海道)
部員	細谷吉隆(千葉県) 近藤尚良(鳥根県) 江崎博明(大分県)	部員	井出正治(山梨県) 上田篤(兵庫県)	部員	箱守志農夫(茨城県) 米田博伸(奈良県) 布施正朝(大阪府) 塚崎康之(岡山県)	部員	森田満(富山県) 佐藤和伸(東京都) 篠弘樹(東京都) 山口登一郎(東京都)	部員	荻野羲之(埼玉県) 瀧澤一裕(東京都) 岩澤勇治(静岡県)	部員	山田俊志(石川県) 福井勝美(香川県)	部員	田澤裕二(神奈川県) 森倫範(神奈川県)
3名	2名	4名	4名	4名	4名	3名	3名	2名	2名	2名	2名		

日本機能訓練指導員協会
(保健・介護予防事業推進室)

担当理事: 川口貴弘 中川裕章(宮城県) 三谷誉(愛知県)

担当理事: 原澤研祐 塩見猛(北海道) 森倫範(神奈川県) 隈本圭吾(佐賀県)

担当理事: 橋口均 藤井剛寛(東京都)

Re:bone